

環境調査結果のお知らせ

平成23年6月24日午前9時半から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1)

水温は22.07~25.82℃で、前回調査時(平成23年5月31日)と比較して3~6℃程度上昇していました。塩分は2.81~25.19で、河川水の流入の影響が見られました。

溶存酸素濃度(表1)

溶存酸素濃度は5.02~14.17mg/lで、0~1m層が過飽和になっていました。

プランクトン(表2・3)

河川水の流入の影響とケイ藻類の増殖により、透明度は1mでした。

検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが少数確認されました。また、ケイ藻類のリゾソレニア属が増殖しており、最高12,125cells/ml確認されました。

有害種の出現数は僅かですが、海面の様子や魚など生き物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温・塩分・溶存酸素濃度

測定水深(m)	水温(℃)	塩分	溶存酸素 (mg/l)	前回調査(H23.5.31)		
				水温	塩分	溶存酸素
0	25.82	2.81	13.22	19.85	1.97	10.59
1	25.15	3.03	14.17	19.41	2.34	9.93
2	22.07	21.11	6.29	-	-	-
B-1	22.25	25.19	5.02	19.58	10.45	6.10

表2 水深・透明度

		前回
水深(m)	3.5	2.8
透明度(m)	1.0	0.5

表3 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・ アカシオ	ユーグレナ藻 (ミドリムシ)	プロロセントラム・ トリエステリナム	ヘテロカプサ・ ランセオラータ	ジャイロディニウム・ ドミナンス	ケイ藻類 (リゾソレニア属)
0	0	9	0	0	0	12,125
2	4	0	3	5	3	10,750
B-1	0	1	10	4	10	4,275